図書館だより

第５号　２０２６/１０/２２
石巻工業高等学校 図書館

石工祭が無事に終わりました。各団体の工夫を凝らした活動はとても素晴らしかったです。皆さん、お疲れ様でした。日に日に秋が深まり、本格的な読書の季節がやってきました。秋の夜長はスマホをひと休みして、ぜひ本を開いてみてください。

素敵な本との出会いがありますように！

読書週間のお知らせ　本と親しむ１週間

期間：１０月２６日（月）～１０月３０日（金）

内容：①自主読書　８時３０分 ～ ８時３５分　※登校した人から、読書を始めてください。
　　一斉読書　８時３５分 ～ ８時４０分　※みんなで一緒に読書をします。
　　★事前に自分の好きな本を準備してください。
　　★図書館から借りたり、学級文庫も活用してください。



②昼休みに放送を流します。
　　★図書委員が昼休みに「本」に関する話題を放送します。
　　ためになる情報が満載です！お昼を食べながら、ぜひ耳を傾けてください。

〈図書委員会の活動〉

貞山小学校での読み聞かせ活動

９月１１日（金）図書委員の読み聞かせ班９名が貞山小学校の３・４年生の教室で、読み聞かせ活動を行いました。今回は桂文我脚本の「さらやしきのおきく」（紙芝居）と小川未明原作の「月夜とめがね」（紙芝居）を読み、貞山小学校のみなさんに楽しんでもらいました。





「芸術鑑賞会」のお知らせ

〈演目〉東京サロンシンフォニーオーケストラ コンサート
〈日時〉10月29日(木) 13:30~15:15
〈会場〉マルホンまきあーとテラス

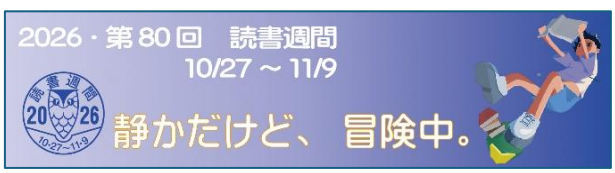
お楽しみに♪



全国 読書週間

10月27日（火）から11月９日（月）は、全国の読書週間です。今年の標語は、**「静かだけど、冒険中。」**です。標語の作者は、「ページをめくる時、傍目には静かに見えても、心はふっと遠くへ旅に出ていろんな体験や感情に出会っています。そんな静かな没入感と、想像力による内面の動きが同居しているおもしろさを、ことばにしてみました。」と言っています。皆さんも、この秋は、ぜひお気に入りの本を開いてみてください。

期間中、借りてくれた人にしおりのプレゼントをします。
ぜひ借りてみてくださいね！



新着図書案内

<000総記>

『知りたいこと図鑑』　みっけ/著

<200歴史>

『明治のナイチンゲール大関和物語』
田中ひかる/著

『るるぶ仙台 松島 宮城』
ＪＴＢパブリッシング/編

<300社会科学>

『知りたい!専門学校工業・農業分野：
情報・ゲーム・建築・バイオ・農業生産など』
三井綾子/著

『音楽脳×勉強脳の使い方：バイオリニスト
・廣津留すみれの「アタマ」の中』
廣津留すみれ/著

<400自然科学>

『顕微鏡でのぞいてみた身近な植物断面図鑑』
加藤優太／著

『救命救急センターのいちにち』
あいはらいくこ/文；にしださとこ/絵

<500技術>

『ボクは日本一かっこいいトイレ清掃員』
大井朋幸／著

<600産業>

『挑戦する田んぼ　生きものたちとお米を作る』
安田弘法/著

<700芸術>

『こびとづかん』　なばたとしたか/さく

『クラシックのからくり：
「かたち」で読み解く楽曲の仕組み』
舟橋三十子／著

<800言語>

『作文モンスター図鑑』
宮城信/著；hitom/イラスト

<900文学>

『けんぐゎい』
朝倉かすみ/著

『ゾンビ回収婦』
小砂川チト/著

『准教授・高槻彰良の推察
民俗学かく語りき』（角川文庫）
澤村御影／著

『ファイア・ドーム』上・下
辻村深月/著

『殺し屋の出世術』　野宮有/著

『永遠の記憶』
東野圭吾/著

『時給三〇〇円の死神 』
藤まる/著

『NDC男子!　１』
舟崎泉美/作；えん/絵

『ウイルス』　真山仁/著

『口訳太平記ラブ&ピース』
町田康／著

『ギャルにひかれて寺マルシェ』
宮島未奈/著

『青天』　若林正恭/著

『本屋さんのある街で』
凪良ゆう　ほか/著

『閉じこめられた「森の人」』
ミッシェル・カダルスマン/著

『プロジェクト・ヘイル・メアリー』　上・下
アンディ・ウィアー/著；小野田和子/訳

10・11月の開館カレンダー

月	火	水	木	金
10/26	28	29	30	31
○	○	○午後芸術鑑賞会	○	○
11/2	3	4	5	6
○	文化の日	○	○	○
9	10	11	12	13
○	○	○	○	閉館日
16	17	18	19	20
○	○	○	○	○放課後閉館
23	24	25	26	27
勤労感謝の日	○	○	○	○放課後閉館
30				
○				

☆図書館だよりと一緒に「本棚23」

「本棚２３」は、石巻地区の高校図書館に勤務する学校司書がオススメの本を紹介するパンフレットです。

紹介された本を図書館に展示しています。

様々なジャンルの本がありますので、ぜひご覧ください。



